

絵本は誕生日のお祝いなどに求める人も多い



米原・Chants Club

「Chants」は1999年、市内の鳴海ルミ子さんが自宅の一角に開設。店内には、約300冊もの絵本が並んでおり、「趣味の絵本集めが高じて開いてしまいました」と鳴海さん。2007年に発足した「Chants Club」のメンバーは、鳴海さんと、店をよく訪れていた大澤優子さん(長浜市神原町)、寺田智子さん(同市地福寺町)、山岡奈美さん(高月町柏原)の4人で、いずれも自宅などで英語を教えているママさんだ。大澤さんは「指導方法の悩みや迷いを相談する中で

色遣い 現 子どもたち異文化触れて

「Chants」は1999年、市内の鳴海ルミ子さんが自宅の一角に開設。店内には、約300冊もの絵本が並んでおり、「趣味の絵本集めが高じて開いてしまいました」と鳴海さん。2007年に発足した「Chants Club」のメンバーは、鳴海さんと、店をよく訪れていた大澤優子さん(長浜市神原町)、寺田智子さん(同市地福寺町)、山岡奈美さん(高月町柏原)の4人で、いずれも自宅などで英語を教えているママさんだ。大澤さんは「指導方法の悩みや迷いを相談する中で

幼児対象の子育てサークルも

大澤さんと寺田さんは、昨年(2008年)から幼児を対象にした「えいご子育てサークル Sweetie」の活動も始めた。月々2回の開催で、家庭でもCDを聞くなどの指導法も盛り込んでおり、参加しているお母さんの中には「日常会話の中でホロッと英語が出てくる」とかあり、うれしそうです。寺田さんは「私たちは英語に親しみたい人の背中を押してあげるのが役割」と笑顔を見せた。



「えいご子育てサークル Sweetie」には親子10組ほどが参加している

お話会や出張講座

親しくなりました」と話す。

活動は年4回、季節ごと「Chants」で「お話会」を開催。英語絵本の読み聞かせだけでなく、エプロンシアターや歌なども取り入れて、英語の楽しさを伝えることに力を入れている。依頼があれば、児童館などでの出張講座もこなしている。

お話会は英語だけで進められる。果物や色、動物など、その日のテーマに沿った単語を、歌やクイズで繰り返し使った後、お話に移る。英語は初めてという子でも、徐々に絵本の世界に引き込まれていく。帰る頃にはいっしょに単語を覚える子もいる。

英語の絵本には、日本の絵本にはない色遣いやタッチが満載だ。鳴海さんは「異文化に触れるきっかけにもなる」といい、山岡さんは「はっきりと言いつける英語を知ること、自分の意思や気持ちをしっかりと伝えられるようになるのではないかと効果に期待する。「子どもと一緒に辞書を引きながら読んでみまう」と買い求めるお母さんも多いという。

英語の絵本で世界旅行



それぞれに子育て中の「Chants Club」のメンバーはママの目標を大切に活動している

英語の絵本を通して子どもたちにいろいろな世界を見せてあげたい。米原市にある英語絵本専門店「Chants(チャント)」(同市宇賀野)では、英語を教えている子育てママらが「Chants Club」を結成し、読み聞かせなどを通して外国の文化や英語を学ぶことの楽しさを伝えている。

◆Chants Club夏のお話会とブックフェア

お話会は7月5日午前10時半、長浜市公園町の大塚工務店展示場・太鼓判の家。参加費200円(子どものみ必要)。ブックフェアは午後1～5時、米原市宇賀野、Chants。いずれも申し込み、問い合わせはChants(0749-52-5846、午前11時～午後5時。月曜定休。来店時は事前に要連絡)へ。

◆えいご子育てサークルSweetie

毎月2回(火曜日)、午前10～11時と午後3～4時、長浜市公園町の大塚工務店展示場・太鼓判の家。対象は1歳半から4歳までの親子。参加費1回1000円。2か月ごとに絵本、CD代として1214円必要。見学や参加など問い合わせは電子メール(sweetie_english@yahoo.co.jp)で。